



新緑

しんりよく



【発行】 社会福祉法人 新緑福祉会 / 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137 <https://www.shinryoku.or.jp/>

平成31年1月1日

平成31年 新年を迎えて

新緑福祉会 理事長 平田 健次



ぜひよろしくお願いいたします。

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、健やかに新年をお迎えになったことと思います。

本年も利用者、保護者、職員の皆様に寄り添った法人運営をまいります。

中期計画」を策定してまいります。一つの案として出ておりますのは、知的障害に特化した「特別養護老人ホーム」です。保護者の皆様にアンケート等ご協力をお願いすることがあると思います。その際には、皆様のご意見をお聞かせいただけたらと考えております。

平成30年は、大阪北部地震、西日本豪雨、台風被害等自然災害が多発しました。また、近々に発生すると言われている東南海地震等自然災害への対応も法人として考えていく必要があります。災害時に避難所へ行っても、周りの人を気遣い、さらに避難所での生活に適應することが難しい方も多数おられます。幸い法人内の施設事業所（「ワークセンターいわや」は公立民営のため除外）は、すべて「福祉避難所」として指定を受けております。まずは一般の避難所へ行っていただきますが、その後、福祉避難所を利用することになります。通いなれた事業所で安心して生活をしていただけるようにするために、福祉避難所を開設後の運営についてのマニュアルを早急に検討してまいります。当然のこととして職員も被災しております。阪神淡路大震災の教訓をもとにしながら、被災から免れた職員、また保護者の協力もいただきながら避難所運営ができないかと考えております。

このように新緑福祉会として、様々な課題を抱えておりますが、法人理事、評議員、監事が利用者、保護者、職員と一体となり、協力をいただきながら一つずつ課題解決に向け努力していきたいと思っております。

昨年、平成30年は新緑福祉会にとって、またその母体である手をつなぐ育成会にとって画期的な一年になりました。

しあわせの村の重度高齢化対応のグループホーム「えみのき(咲の樹)」の運営が始まりました。

新緑福祉会にとっては、15年ぶりの新規施設の開設になりました。また「手をつなぐ育成会」にとっても平成30年度事業計画のスローガン「取り組もう親なき後は親あるうちに」を実現する第一歩になりました。

重度高齢化対応のグループホームは、全くの新規事業のため、運営についてまだまだ不十分なところがあり、保護者の皆様、育成会会員の皆様のご期待に十分応えることができていないことを心苦しく思っております。

今後、「えみのき」「緑友」「平成」の3事業所が互いに連携し、また併設の相談支援事業所とともに、障害者のトータルケアの拠点としての役割を果たすべく、努力してまいります。

入所施設の新規設置が認められない中、「第2、第3のえみのき」はどうするのか。本年、平成31年は法人として、「手をつなぐ育成会」とも協議しながら、「第2期

本年も、利用者、保護者のため、そして働く職員のため、さらには地域の福祉向上のために努力してまいります。どうぞご協力、ご尽力よろしくお願いいたします。

最近思うこと

ワークホーム緑友 保護者会長 廣瀬 真奈美



私も50半ばを過ぎ、これからの人生を考える。10年後はどうしているのだろうか…

元気であるだろうか… 旅行に行ったり、孫と遊んだり…そんな楽しい将来は来るのだろうか…それよりも何よりもたけちゃん（息子）は幸せに暮らしているだろうか…

たとえば、グループホームホームで暮らして、日中は現在、緑友でしているようなお仕事を、お休み

の日はヘルパーさんと大好きな山歩きや美味しいものを食べに連れて行ってもらったり…そんな暮らしが出来たらいいな~とだったりします。

私たち障がいのある子をもつ母は、いつまでたっても息子と2人で1つ（ニコイチ）です。

成人しても30才を過ぎても、いつも一緒、それがあたり前のように思ってきました。

大変な時もあるけれど、一緒にいることが一番幸せだと思ってきました。でも自分が年若い、兄弟も独立してしまえば、ずっと2人は暮らしていけない。

いずれは親離れ、子離れ、そんな時私は…

肩の荷をおろす これです少しは安心できる たけちゃんのいない日常に耐えられるだろうか…ついついそんなことを考えています。

今から10年後、20年後、障がいのある人に、家族に、もっと暮らしやすい時代になってくれることを強く願います。

法人合同行事“新緑Freeぴっく 18”

とこはの家 玉井 弘二

平成30年11月2日、今年も恒例の法人合同行事“新緑Freeぴっく 18”を開催しました。場所もプログラムも昨年とほぼ同じ（内容はみなさんがより楽しんでもらえるよう、各担当で工夫を凝らしました）で、参加された方にもわかりやすかったのでは、と思います。ただ、今回は金曜日の平日開催ということでお客様が少なかったです。

各プログラムとも力のいった内容で、午前の初めから参加者の盛り上がりも昨年以上ではないかと思えました。はたから見ているととても力が入りました。

また、今回はゆっくりお弁当を食べていただきたくお部屋を用意しました。人数に制限がありましたが多くの方に利用いただきました。

昼食後も、全体の勢いが衰えず、最後まで突っ走ったようです。

楽しい時間があっという間に過ぎてしまいました。

また、来年もやりたいですね。

なお、今回の取り組みにはたくさんの方にご協力いただきました。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。



一泊旅行 ～京都府 夕日が浦温泉～

玉津むつみの家 支援員 峰山 宏章



玉津むつみの家の一泊旅行は、2グループに分かれ京都府北部の夕日が浦温泉に行ってきました。前半組・後半組ともあいにくの雨になりましたが、みんなが楽しみにしていた一泊旅行

だったので、たいへん盛り上がり帰ってきました。

まず、往路の休憩場所は、海鮮せんべいの里でした。せんべいの試食やコーヒーのサービスがあり、少し一日の疲れが取れました。その後、旅館に到着し、温泉に入りました。そして、「いざ、宴会！」です。なんと宴会では、カニを頂きました。カラオケもして満足な一日でした。

2日目は、旅館を後にし、「かに一番木津店」というお店へ行きお土産を買いました。その後、豊岡カバン工房で、オリジナル鞆を作りました。カバン工房では、「カンカンカン」「キンキン」と言う音がこだましていました。

最後に、出石で名物の皿そばを食べました。

きっと、次回も「いい旅になるように」と雨上がりの夕日に願いを込めて帰ってきました。

神戸市立ワークセンターいわや 設立25周年記念一泊旅行

神戸市立ワークセンターいわや 施設長 光岡 研士

設立して25周年を迎えるため、「25周年記念一泊旅行」を実施しました。新しく入所された4名の方にとっては初めての宿泊を伴う行事参加となりました。

平成30年9月28日(金)～29日(土)と10月12日(金)～13日(土)の二班に分かれて実施し、旅行先は南紀白浜「アドベンチャーワールド」で少し時間はかかりましたが、大きなお風呂、大宴会、カラオケを楽しみました。そして、お目当ての「アドベンチャーワールド」では、ジャイアントパンダの赤ちゃんには会えませんが、イルカショー、ワールドサファリなど観賞し、ご家族への土産を買い、昼食をとって、17時

いわやに到着し、無事終えることができました。



設立30周年記念 グリーンホーム平成 宿泊旅行報告

グリーンホーム平成 支援員 西木 史裕

本年度は、グリーンホーム平成30周年を記念して、9月に実施しました。2グループに分けて、1回目が9月14日～15日、2回目は9月21日～22日で福井県にあります県立恐竜博物館と芦原温泉、滋賀県長浜黒壁スクエアへ行ってきました。車内ではみんなお喋りを楽しみました。

恐竜博物館では壮大なスケールで展示された恐竜の世界を感じました。

夜は、温泉で日頃の疲れを癒し、贅沢な料理を楽しみました。

長浜では、ジェルキャンドル作りの体験をしました。

みんなで、1泊2日の楽しい時間を共有することができました。



宿泊旅行報告

ワークホーム緑友 施設長 堀江 善也

参加利用者46名で、9月27日・28



日の2日間、滋賀県に一泊旅行に行ってきました。台風が北上していましたが動きが遅く、2日間は晴天に恵まれ楽しく旅行に行けました。

1日目は、滋賀県到着してすぐに、近江牛のすき焼きの昼食を食べました。明治時代からつづくお店で、本場の近江牛を味わいました。

その後、彦根城へ行き、グループごとに城下町やお城の近くを散策したり、土産物を買ったりして、ゆったりとした時を過ごしました。

夜は、温泉に入った後、宴会でごちそうを食べ、カラオケをしました。今年も、カラオケは大人気で、多くの利用者が歌をうたったり、身体を動かしたりしました。

2日目は、琵琶湖博物館へ行きました。琵琶湖博物館には、淡水魚の水族館があり、珍しい魚に出会えました。水槽に近づくとも魚が寄ってくることもあり、利用者も喜んでいました。

その後、近江八幡のラコリーナという洋菓子のテーマパークへ行きました。出来立ての洋菓子を食べて、コーヒーを飲んだ利用者もいました。神戸のスイーツは美味しいですが、滋賀近江八幡ののんびりした環境で味わうスイーツも格別でした。

ゆったりと楽しい時間を満喫できたと思います。

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 平成30年度 新緑福祉会後援会 バザー活動報告 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

第29回 こうべ福祉・健康フェア(しあわせの村)

とこはの家 中村 久代

実施日時: 平成30年10月7日(日) 10:00 ~ 16:00
 売上: 88,215円 参加者: 18名



10月7日(日)しあわせの村イベント広場にて「福祉健康フェア」が開催され、新緑福祉会後援会も出店致しました。
 前日まで台風25号の接近を杞憂しましたが、当日は嘘のように雲一つなく晴れ渡りました。

しあわせの村には、3つの新緑福祉会の事業所やグループホームがあります。新緑福祉会会員として、このバザーに参加することに大きな意義を感じて毎年、参加しています。

しかし、最近、参加しているメンバーのなかで、70歳を超えている方が多くなってきました。年齢のことを考えると不安に思えることもあります。

そんな中で、新しい発想を提案してくれる若い人もいて、心強く感じることもあります。

今後は、新しい発想も積極的に取り入れ、若い人たちが参加しなくなるようなバザーを目指していきたいと思っています。

今後は、みんなで知恵を出し合い、バザーが、より魅力的なものになるよう頑張っていきたいと思います。

こうべロハスひろば in しあわせの村
リサイクルバザー

玉津むつみの家 里 さとえ

実施日時: 平成30年10月7日(日) 10:00 ~ 16:00
 売上: 52,165円 参加者: 18名



当日はお天気に恵まれ絶好のバザー日和となり、古着と日用雑貨の販売をしました。

今回は、法人の職員の方々が近くの駐車場までバザー用品をトラックで運んでいただいたおかげで、楽でスムーズに準備ができました。

開始前からたくさんの人達でにぎわい、中にはバザーの品物を手に取り待っている方がおられ、販売は10時からですとお声をかけ、その様な状況の中で始まりました。

「お友達から聞いて来ました」「また来ました」等、多くの人達に来ていただき、にぎやかなバザーをなりました。

お手伝いのお母さん達のがんばりで、たくさん売ることができました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



とこはの家クラブ活動

生活支援員 古藪 雅彦



とこはの家では、月に1回クラブ活動を行っています。3種類の活動を用意して、利用者の方の希望を聞いて参加してもらっています。

活動内容は、「元気体操」「ゆっくり体操」「おしゃれクラブ」「カラオケ」のほか、利用者の方が、どのような活動内容であれば楽しく参加してもらえるのかを試行錯誤しながら実施しています。

「ゆっくり体操」は、重度の利用者の方でも身体を動かしてもらえるようなプログラムにしています。

「元気体操」では、「ゆっくり体操」に比べると多少は激しい動きを取り入れて身体を動かしてもらえるようなプログラムにしています。どちらの体操も、筋力低下の予防を目的にしています。

「おしゃれクラブ」では、手の爪・足の爪にマニキュアを塗って普段できない体験をしてもらっています。女性利用者の方が多いですが、男性利用者の方も手にマニキュア塗って「おしゃれ」を楽しんでいます。



ワークセンターいわやでの余暇活動

生活支援員 東野 直文

ワークセンターいわやでは、毎週水曜日の午後、「よかよか」「スポーツ」「そうさく」「カラオケ」「茶道」「音楽療法」の余暇活動を行っています。毎年4月に希望アンケートをとり、所属を決めています。

◎よかよか

希望のDVD鑑賞や歩行、ドライブ等を実施しています。ドライブは水の科学博物館、サイエンススクエア、六甲山、神戸ベイエリア等の観光スポットから穴場まで出掛けています。



◎スポーツ

青陽東養護学校のグラウンドや体育館を使用させていただき、歩行、ランニング、自転車、球技、トランポリン等、バラエティにとんだ活動を行っています。

◎カラオケ

好きな曲(昭和歌謡から流行の音楽まで)を選んで、みなさん熱唱されています。

◎茶道

毎月第2水曜日に、お茶の先生(ボランティア)に来ていただき、4月~9月まで全利用者を対象に茶道を行っています。その後は希望のみ、「10月~12月の間いわやで茶道を行う」または「1月~3月の間は先生宅のお茶室で茶道を行う」のいずれかを実施しています。

◎音楽療法

毎月第1・3水曜日に音楽療法研究会「スタジオ・トレ」の音楽療法士2名を中心に実施しています。



えみのき(咲の樹) 新人職員の自己紹介



えのう かよこ
恵濃 佳代子

この仕事のやりがい

この仕事に携わるのは初めてで、最初は戸惑いながらの仕事でした。利用者どう携われれば良いかわからず感じた事は体当たりで行動する。そんな感じで仕事と向き合っていました。ここの利用者の方はとても自由に楽しく過ごされていて、とても穏やかです。私は利用者の方が、少しでも楽しく過ごせる環境を作っていけたら何よりも仕事のやりがいに繋がると思っています。



ふじおか しげいち
藤岡 重市

この仕事のやりがい

咲の樹にお世話になって半年が経過しました。いまだに失敗が多く、諸先輩方に迷惑かけたり肝心な入居者の皆様には、辛い思いをして頂いているのが現状ですが、時折、入所者の方から要望の際に、手を引かれたり、オ～イ・オ～イと呼ばれたり、時には笑顔で返されると少しは心が通じるようになったのかと、この上ない喜びと充実感で満たされます。今後も皆さんとハート to ハート。フェイス to フェイス。マウス to マウスの精神を持って業務に取組み、皆さんとの絆を一層高めて一人前の支援員を目指します。



さかい ゆう
酒井 優羽

最近感動したこと

初めの頃は、利用者さんどう接しているのかわからなかったのですが、今ではある利用者さんとアントニオ猪木のモノマネで盛り上がり、徐々に利用者さんが僕を頼ってくれたりして、「えみのき」で働く事が楽しいです。自分自身も第2の家に感じたりもします。利用者さんにも僕と同じように「えみのき」に帰ってきたいと思える環境作りに貢献したいです。



とよくら みわ
豊蔵 美和

ココで働きたいと思った理由

40歳を超えてから福祉の仕事に興味を持ちました。数年前に転職があり小児科に勤める中、医師がてんかんの専門医でもある所から、クリニックで色んな研修を受けることが出来、これらを活用出来る所が他にないのかと思っていた所、友人に「えみのき」の求人教えてもらいました。利用者さんの声に耳を傾け、お互いに相談相手ながら、想像以上の良い環境に身を置けたと感じています。



にしたに やえこ
西谷 八重子

これからの抱負

緑豊かなしあわせの村で新しくできました施設での仕事は、不安な気持ちもありますが、笑顔で取り組んでいきたいです。皆さんがご家庭で過ごされているように安心してリラックスできるこの場所(えみのき)を皆さんと共に充実した日々が過ごせるお手伝いが出来るように頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



ひろおか れいと
廣岡 滯斗

趣味や特技はこれ!

特技は12年間続けてきた野球です。最近では自分がプレーするよりも見る事が多くなってきたので、趣味が変わってきているのではないかと思います。自分の年齢の近いプロ野球選手が活躍していると嬉しく感じたり、年下の子が甲子園などで、活躍している姿を見ると今後、プロ野球に入ってからの活躍が楽しみだと思ようになりました。



やまだ ひろみ
山田 広美

ココで働きたいと思った理由

身体はデカク、気は小さく、人見知りの私「山田広美」ですが、「えみのき」の利用者さんは温かく、癒しのムードで見守っていただき、今はとても楽しく働かせていただいています。これからも良い関係を続けていきたいと思っています。



たかいわ ななえ
高岩 奈々江

最近うれしかったこと

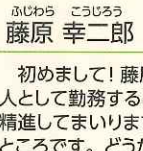
最近ですが、友人と「USJ」に行ってきました。本当に久しぶりで7~8年ぶりでした。入園して真っ先にハリポッターのアトラクションに行き、1時間並んだ後でライドに乗りました。迫力のある映像に思わず思い切り叫んでいました。私一人楽しめた一日でした。「えみのき」の利用者さんとお喋りしたり楽しいひと時を共有出来たらなと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



きゅうま まき
久馬 真紀

これからの抱負

以前こちらのしあわせの村の施設で、移動支援の資格取得の実習をさせていただきました。普段は可愛い子ども達と接しています。利用されている方々は大人で、あの子達の未来にこのような施設があるんだと改めて思いました。「えみのき」において、穏やかに過ごせるよう皆さんを支え、笑顔を増やそう努めたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。



ふじわら こうじろう
藤原 幸二郎

自己紹介

初めまして! 藤原幸二郎と申します。この度、縁があり「咲の樹」で世話人として勤務することになりました。なにぶん不慣れでありますので、日々精進してまいります。これといった趣味もなく、健康だけが取り柄といったところです。どうかよろしくお願いいたします。



ボランティア紹介

グリーンホーム平成 ボランティア 都築 康子

三十周年おめでとうございます。

「しあわせの村の施設でお手伝いして頂けませんか?」と、星和台婦人会に声をかけて頂いたのがきっかけで、こちらに何うようになったのが十周年の式典のあった年だったと記憶しておりますので、あれからもう二十年の時が流れたのですね。

初めは何う回数も人数も多かったのですが、だんだん少なくなり、今では三人になってしまいました。

私達も孫を持つ年齢になり、若い利用者さんにとってはおばあちゃんといったところでしょう。

家の都合等もあって、予定通りに伺えなかったりご迷惑をおかけしていることも多いのですが、こんな私達のことをいつも快く迎えて下さる職員の皆さんの笑顔に感謝しています。

利用者の方々が根気よく作業に取り組みされる姿、それをサポートされる先生方の言葉がけや心配り、そして利用者さん一人、お一人の違った個性を大切にしながら対応される姿にいつも感心させられます。

私達の働きは本当にささやかなものですが、少しでも何かのお役にたてるのでしたら、細くても長く続けることができればと思っています。

グリーンホーム平成が、これからもずっと温もりのある愛される場として長く受け継がれていきますように、心から願っております。



明友 緑友 平成 合同もちつき会



グリーンホーム平成 西木 支援員

年末恒例のお餅つきは、大阪ガス労組様のご厚意により今年も盛大に開催されました。

ワークホーム明友さん、緑友、平成、に加えて、今年からグループホームえみのきの方が参加され、総勢200名を超える方が、威勢のいい掛け声のもと、元気に餅をつき、お腹いっぱいお餅を味わいました。今回も大人気のカレーをはじめ、きなこ、ぜんざい、大根おろし、そして体温まる豚汁などに舌鼓を打ちました。

今回のキャラクターとの記念撮影会は、ワケニャンに加えて、ひこにゃんが登場しました。その他、玉津むつみの家の物品販売があり、労組のご家族の子どもたちが走り回って、楽しい年の瀬の一日となりました。



平成30年度 法人虐待防止研修について

とこの家 玉井 弘二



今年も法人の虐待防止研修を、12/7(本部)12/21(平成)で開催しました。ななくさ育成園施設長 西田氏に講義をしてい

ただきました。

西田氏からは実務経験を通じた内容を聞くことができました。

特に印象的な言葉として、虐待防止に対する取り組みは「スキル(技術)」である、ということです。得手不得手の問題

ではありません。「みなさんスキルを高めましょう。」とエールをいただきました。

また、11月22日に東部在宅障害者福祉センターで行われた、明輪会主催の虐待防止研修にも、多くの法人職員が参加しました。講師は、元甲南女子大学人間科学部心理学科教授の川島氏で、主に心理面に着目した内容を聞くことができました。

そして、新たな取り組みとして新緑の家では事業所の実例を再検討し、業務につなげる研修を実施しました。

この研修を機会に職員全員で、西田氏の講義の中で出てきた“会えてよかった”人を目指していきたいと思います。

平成30年度 法人5年経過者研修について

ワークホーム緑友 施設長 堀江 善也

12月10日(月)に、法人5年経過者職員研修で、5名の職員が2つの事業所・施設を見学してきました。

今年度は、5年経過者の5名が事前に集まり会議を行い、テーマを「強度行動障害の理解」としました。行先は、強度行動障害や自閉症の支援を展開している姫路市の行動障害支援センターのぞみ(真砂園内)と、高砂市のあかりの家を見学し、両施設長より支援について話しをしてもらいました。

午前中見学した行動障害支援センターのぞみの施設長 天野氏からは、「強度行動障害は、人との関わりから生まれる二次的な障害なので支援者との信頼づくりが大切である」。具体的には、「日中の作業場面で見通しを持ってもらい、励ましや応援で出来た」という実感を持ってもらうことだと言うことでした。また、「作業を通して成功体験を積んでいき、褒められたら嬉しいという気持ちになってもらい、自信からやる気につなげていく支援をしている」と言うことでした。

その後、作業場面を見学しましたが、強度行動障害のある人も他の利用者と一緒に集中して作業をしておられました。

午後からは、あかりの家を見学しました。あかりの家では、日中は、作業棟へ行き、夕方、居住棟に帰ってくる職・住分離の形を取っていました。

施設長の三原氏は、「自閉症の人にとって日中ゴロゴロしている(何もしないでいる)ことが、よくない。重度であっても、働ける可能性を大切に作業参加を応援している、作業に参加することが、心の安定につながる」と話されていました。

参加した職員からは、現在働いている職場でより良い支援を行うどうすればよいかという質問が多く出ており、自施設での取り組みにいかしたいと思っています。



報告 法人内各事業所で実習等の受入れを行いました(平成30年8月～11月)

ワークホーム緑友

- 神戸特別支援学校 神戸親和女子大学 太山寺中学

グリーンホーム平成

- 神戸特別支援学校 佛教大学 武庫川女子大学 頌栄短期大学 成年後見支援センター
 海星女子中学

ワークセンターいわや

- 青陽東養護学校 神戸大学 長峰中学 武庫川女子大学

なだ障害者地域生活支援センター

- 関西福祉科学大学

**講師派遣**(平成30年8月～11月)

なだ障害者地域生活支援センター

- なだ障害者地域生活支援センター山本副所長が神戸市社会福祉協議会「障害サポーター養成講座」の講師を務めました。
- 神戸市社会福祉協議会 こうべ安心サポートセンター主催
テーマ「対象者の基本的理解・知的障がい」について
平成30年10月4日 法人本部正心事務局長が、「第6期神戸市市民後見人候補者養成研修」で講師を務めました。

ご寄贈いただきました

《大阪ガスグループ様より》平成30年10月

パソコン寄贈プログラム「はじまるくん」のパソコンをご寄贈していただきました。普段の事務作業に加え、利用者の方と一緒にクラブ活動に使用するイラストや音楽を検索し、大変役立っています。ありがとうございました。

【グリーンホーム平成】

**いわや's kitchen**

ワークセンターいわや 管理栄養士 池田 麻子

毎日、いわやへ来る楽しみはナニ？ 給食は、外せませんよね！楽しい給食がバラエティーゆたかな献立になるように日々考えています。

そんな中、「ご当地グルメ」の献立は、その土地の B級グルメを取り入れ、食べたことのない献立もあつたりします。どんな味がするのだろうとワクワクされ、何日も前から楽しみにされておられる方もいます。そして、食べたときの感想は「わぁ～美味しい」と感動の声が上がり、たくさんの笑顔が溢れています。

皆さんが目を丸くしたり、頬が上がったりする表情は、毎日の昼食時間を豊かなひと時にしてくれています。そんな時間をもっと増やしていきたいです。



仙台(麻婆焼きそば)



盛岡(盛岡冷麺)

名古屋
(あんかけスパゲティ)

支援者芳名録

【平成30年8月～平成30年11月】

〔後援会扱い〕

賛助会員名(敬称略)

丸尾宗茂、関英子、浅川文子

会費合計 9,000円

〔法人寄付扱い〕

寄付者名(敬称略)

武田雅子、木下伸子、原田兼嗣

寄付金合計 73,000円

〔法人〕

新緑福祉会へのご寄付のお願い

社会福祉法人新緑福祉会へのご寄付受付を当法人事務局にておこなっています。

障がい(児)者の方が一人でも多く社会に参加し、生きることを心から楽しめるよう知的障がい(児)者の家族、職員一丸となって取り組んでおります。

当法人の考え方、事業に共感をしていただける皆様からのご厚情・ご支援をお待ち申し上げております。

皆様からのご寄付はこのように役立てています

- ・新規事業所の創設(グループホーム・相談支援事業所等)
- ・車両の購入(送迎用ワゴン車、作業用トラック等)

個人ご寄付 1口 3,000円、団体ご寄付 1口 10,000円

ご寄付の方法

《お振込》

郵便振込

口座番号: 00940-5-0236641

加入者名: 社会福祉法人 新緑福祉会(シャクワクシヨクシノリョクフキカイ)

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、電話番号は正確にご記入願います。

《現金でのご寄付》

法人本部事務局及び、法人内各事業所でも受け付けております。(受付時間 平日9:00～17:00)

※窓口にて「払込取扱票」をご記入いただけます。

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、電話番号は正確にご記入願います。

当法人にご寄付いただくと、以下の所得税法及び法人税法による控除が受けられます。手続きは、寄付をされた年の確定申告時に、当法人が発行した寄付金領収書を添付して下さい。

＜個人の場合＞

以下の限度額で所得税法の寄付金控除が受けられます。

〔「特定寄付金の支出額」と「総所得金額等の合計額の25%」のいずれか少ない方の金額〕－5,000円＝寄付金控除額

＜法人の場合＞

次の限度額内で法人税法上の損金算入ができます。

《(期末資本金及び資本積立金 × 事業年度の月数 / 12 × 2.5 / 1,000) + (当該事業年度の所得金額 × 2.5 / 100)》

ご寄付に関するお問い合わせ

社会福祉法人 新緑福祉会

〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7

TEL: (078) 913-1277 FAX: (078) 913-1137

メール: otoiawase@shinryoku.or.jp

〔後援会〕

後援会賛助会員勧誘のお願い

新緑福祉会後援会(以下、後援会)は、社会福祉法人新緑福祉会(以下、法人)に対し、毎年、施設用地の取得に係る借入金の償還金相当額 540 万円の財政支援をしています。また、各施設の建物改修、設備の更新等の経費に対しても、毎年、支援をしています。さて、賛助会員の皆様のご協力により、念願の「えみのき(咲の樹)」が竣工しました。今後は、ショートステイ、相談支援の運営にも期待が高まっています。ただ、親なき後の住まいについては、まだまだ多くのニーズが解消されておりません。そのため、さらなる事業拡大に向けて更に多額の資金が必要となり、資金集めに取り組まねばなりません。そこで、後援会としては、厳しい社会情勢ではありますが、今後もさらに法人と連携し収入の拡大に努めます。後援会の設立の趣旨にご理解を賜り、一人でも多くの新しい賛助会員のご勧誘をしていただきますよう、また、すでにご加入頂いております賛助会員の方々には、ご加入の継続をご推奨いただきますよう、お願い申し上げます。

🌿 年会費: (個人会員) 1口 3,000円、(団体会員) 1口 10,000円(1口以上のご寄付をお願いいたします)

🌿 振込先: 郵便振込 口座番号: 00960-2-145979

加入者名: 「新緑福祉会 後援会」

🌿 新緑福祉会のHP (<https://www.shinryoku.or.jp>)に、後援会を関連機関として紹介しています。賛助会員についても掲載していますので、是非ご覧ください。

編集後記

社会福祉法人新緑福祉会の機関紙の第8号をお届けします。ご多忙の中、原稿を寄せていただいた皆様に感謝申し上げます。併せて、スマートフォン対応にもなっていますホームページもご覧ください。利用者の人生を支える者として、職員確保が深刻な課題となっています。関係の皆様には、職員人材の確保に向けて、引き続き、情報提供等のご協力をお願いいたします。

後援会の皆様には、10月7日に開催の「第29回 こうべ福祉・健康フェア 大バザー」、11月11日に開催の「しあわせの村リサイクルバザー」への出店をありがとうございました。今後も、法人組織が一体となって取り組んで参ります。



新緑福祉会本部 事務局内 新緑福祉会後援会

お問い合わせ先

〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137

<https://www.shinryoku.or.jp>